

## 令和元年度第1回 えちぜん鉄道活性化連携協議会 議事録

日 時： 令和2年2月13日(木) 14:00～15:30  
場 所： 福井市企業局 5階 大ホール  
出席者： 別紙出席者名簿のとおり  
資 料： 別紙資料のとおり

### 開会

#### 1 会長挨拶

#### 2 報告事項

規約第8条第2項により、座長が会議の議長となって議事が進行された。

#### 報告1 えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画主要施策進捗状況について

事務局より資料説明(報告1 資料参照)

#### <質疑応答>

##### 委員

報告1 6Pの居住の誘導ということで、非常に重要な施策だと思う。元年度の施策で8件は少ないと思うが、その評価と具体的な支援内容を教えてほしい。また制度の周知が重要であると思うが、どう行っているのか。

##### 事務局

居住環境再構築区域への居住の誘導を図るということで、福井市の住宅政策課で施策を展開している。

例えば、多世帯型同居の住宅新築の場合は、居住環境再構築区域で新たに土地を取得し住宅を新築する場合、補助金額は50万円となり、さらにUIターンの場合は10万円の加算がある。また、多世帯型で新たに家をリフォームする場合は、区域を限らず支援上限額50万円を対象工事費の3分の1を支援するものであるが、居住環境再構築区域では上限が80万円の支援となっている。

広報についてはチラシやHPで広報していると認識しているが、詳しく担当課に再度確認し、更にPRできるよう伝える。

##### 委員

財政的な問題もあるが、支援額の増額など、非常に大切な施策なので願います。

##### 座長

質問への補足だが、立地適正化計画は居住誘導区域の設定を法的に定めているものだが、福井市は独自に居住環境再構築区域を設定している。網形成計画上のまちづくりとの連携という意味では一歩踏み込んだものと思う。

補助制度は立地適正化計画が昨年度策定され、補助自体が始まったばかりであるため、今後更

に周知されることによって拡張していくのではないかと思う。富山市では同様の補助をして相当の件数となっているので、福井市も期待できると思う。

#### 委員

福井市だが、福井市では市街地の鉄道駅から概ね500m圏を鉄道沿線区域とし、鉄道とまちづくりという意味での居住環境再構築区域を設定した。今後も区域設定を元に施策展開を行っていきたい。

#### 委員

えちぜん鉄道だが、資料1 8Pの企画列車の運行で恐竜電車が記載されている。

今年4月に、県からの支援を受け恐竜電車をリニューアルする。今までの電車とは違ったりリニューアルをして喜ばれるものとしたい。

また、今の恐竜電車は通常の車両を都度、模様替えて運用しているが、この度、県の支援の元、専用の車両を導入することとなった。新幹線開業までには新たな恐竜電車を導入したいと思っている。

#### 委員

新規の恐竜電車の導入を楽しみにしている。

車両の設備としてはレストラン風のもの欲しいが、新しい恐竜電車はどのようになるのか。

#### 委員

知事からは将来に向けて福井県初の観光列車を導入したいという気持ちだと聞いている。それはえちぜん鉄道だけでなく、福井鉄道、並行在来線会社が共用できるような電車というもので、まさにレストラン列車のようになると思うが、まだ何年か先の話となる。

えちぜん鉄道の新規の恐竜電車は、できれば改造をし、テーブルもつけ、食事も楽しめ、恐竜も楽しめるというイメージを持っているが、色々な人の意見を聞いて進めていきたい。

#### 座長

利用者数という直接的な実績だけでなく、駅の整備を進めることでまちづくりとの連携も進められ、また、駅と関連する地域イベントがかなり広がりを見せていることで、地域への貢献度が高いと思う。駅や鉄道の整備を通して、観光情報をはじめとした情報発信の媒体としても寄与しているということで、鉄道が単なる交通手段ではなく、地域の総合的な活性化の底上げを図り始めているのではないかと思う。

他に意見がないことを確認し、報告(1)終了。

## 報告2 乗車実績、報告事項について

えちぜん鉄道より資料説明( **報告2** 資料参照 )

### <質疑応答>

#### 委員

えちぜん鉄道だが、補足説明をする。

キャッシュレスの推進ということで、3月末よりクレジットカード、電子マネーを導入する。

しかしこれは非常に頭の痛い話であり、お客様がカードを利用される度に手数料がかかってくる。えちぜん鉄道は数百万円の利益を出すことが大変で、なんとか数百万円の黒字にしている。お客様にとっては便利だが、当社にとっては非常に厳しい経営上の問題である。導入したからお客様が増えるということではなく、コストのみかかるということになる。

過去にも話はあったが、当社のこういった事情により先延ばしをしてきたが、3年後の新幹線開業を見据え、やはり必要性があるということで今回導入することとなった。

#### **委員**

資料1 7Pのトイレの補修についてだが、毎年、全ての駅を確認しており、トイレも見ている。しかし、使う人のマナーの問題だが、洋式トイレにしても、かえって汚れていて座れないものもある。有人駅のトイレは駅員が清掃してキレイだが、無人駅はこれから整備するにあたって、整備後の問題がある。

汚れているトイレだとその駅を使いたくなくなってしまう。新幹線が3年後に開業するにあたって、一番キレイにしておかなければならないトイレの問題を検討してもらいたい。

もう1点は高齢者や障がい者優先の席があるが、高校生が普通に座っている。アナウンスがかかっても座り続ける。これは教育が必要ではないかと思う。例えば、学校に対して「人に優しい電車」ということで指導した方がいいのではないか。今はヘルプマークというものもあり、それを見たら席を譲る、という優しい電車にするために、ヘルプマークについても車内にチラシやポスターを張るなどした方がいいのではないか。

#### **えちぜん鉄道**

トイレの清掃は社員と地元のシルバー人材センターへの委託により週2回程度回っている。出来るだけ頻度を上げるように、令和元年の春より体制を変え回るようにしている。これからも現場を見て回り気を付けていきたい。

高校生のマナーの問題だが、私が高校のPTA連合に入っているため、そこでも伝えていく。アナウンスやアテンダントが声掛けをしており、殆どはトラブルにならず譲ってくれている。席を譲ることを自ら気づいて行えるような福井の高校生になって欲しいということはおっしゃる通りなので、学校も一緒に考えていこうということを書いていく。

#### **委員**

地域鉄道3社の事業連携は非常に良い話だと思うので、できれば議論を公開して行って欲しい。新幹線と並行在来線開業を見据えた新スキームを検討していくということで、昨年10月に、県が「わくわくドキドキ新幹線開業アイデアコンテスト」を開催し、ROBAもそこへ応募し、えちぜん鉄道関連のアイデアも記載した。

また、現在、新幹線開業を見据えた福井の都市圏の公共交通に関するアイデア集をまとめている。5～6月には提示できると思うので、提案内容の検討をお願いしたい。

#### **委員**

これからはえちぜん鉄道単独ではなく、バス、タクシー、乗合タクシーなど、公共交通機関全体で取り組むことが重要となる。また、もう少し時間がかかると思うがMaasの取組みも進めて欲しい。

象徴的な例として、駅前のビルの家賃を上げるためにOA化やエレベーターを良くする改善を行っても、そのエリア自体をブランド化し価値を上げていかないと、個別のビルの家賃は上から

ないものである。えち鉄だけの努力ではなく、公共交通機関全体の価値を上げることで、えちぜん鉄道の乗客も増えていくと思うので、今後も取り組んでいって欲しい。

### **えちぜん鉄道**

全てをネットで対応することはできないが、東京から来る人となるとやはりネットでの対応が必要になると思う。それとどう向きあっていくのかを悩んでいる。

例えば、永平寺町は自動運転だけでなくM a a Sにも取り組んでいる。また、コミュニティバスより家の近くに来る、デマンドの「近助タクシー」にも取り組んでいる。自治体とも一緒に取り組んでいるので、経済界の方にも何か一緒にできないかと相談していくことになるので、その節は一緒にお願いしたい。

### **座長**

非常に重要な指摘である。えちぜん鉄道活性化連携協議会となっているが、えちぜん鉄道交通圏という公共交通全体を含めた計画となっている。国の方でも移動手段について色々検討されている。

### **専門委員**

中部運輸局だが、先ほどのクレジットカード、電子マネーの手数料の件だが、国ではキャッシュレス決済を推進しており、機器の購入や設備の改修等への支援を行っているが、手数料については支援対象となっていない。今後このような点についても課題として出てくると思うので、状況について内部へ伝えていく。

網形成計画については、2022年末の北陸新幹線開業が一つの大きなポイントになってくる。国もM a a Sについては先ごろ補正予算もついたが、日本版M a a Sとして、実証実験やキャッシュレスへの対応、オンデマンド交通、予約システム、支払いシステム、検索システムなどについて支援をしていく。これから形成計画を考えていく上で非常に重要なポイントになってくると思う。併せて新幹線開業を考えると外国人旅行者が大幅に増えてくると予想されるので、外国人旅行者に対する情報提供をどうするかも、同様に非常に重要になってくる。

新幹線開業が迫ってきているので、それを踏まえてM a a Sを強力に進めてもらうことや、外国人旅行者への利用手段を提供できるようにしていくことを考えていってほしい。

また、えちぜん鉄道と福井鉄道、そして並行在来線会社の3社が上手く連携して、利用促進や人材確保、保守管理などを検討してほしい。

### **専門委員**

運輸支局だが、北陸新幹線開業ということで、各エリアを接続する2次交通はバス・タクシーとなると思うので、各自治体の地域公共交通の検討も含め、連携してほしいと考えているのでよろしくお願いしたい。

### **専門委員**

県の地域鉄道課だが、県からの支援ということで、今回の支援スキームでの予算措置や、前回の大雪を受けた除雪車導入への支援を行っている。観光列車は観光セクションにて行っている。キャッシュレス化についても補助を行っている。

事業連携ということで、保守管理の中で両社でできる取り組みを進めてもらうなど、まずはえちぜん鉄道と福井鉄道の2社で実現できることを少しでも進めていこうと思うので、沿線市町も含めよろしくお願いしたい。

## 専門委員

京福バスでは1月30日にGoogleMapでの経路検索を開始し、バスを目に見える形によって利用の動機づけになってくると思う。

鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者の連携という点で、災害対応の面でも、毎年色々な災害が起こるたびに代行バスを手配するなどしているが、個別の事業者同士だけでなく、業界全体や行政も含めて今後の改善に向けた話をする場を持った方が良いと思う。

## 座長

災害時の対応や移動サービスを提供する立場から、えちぜん鉄道・福井鉄道で進めているような、連携によるコスト削減などという点についても、地域の交通事業者間の連携はこれから色々な観点から高めていかなければならないので、積極的に進めていって欲しい。

他に意見がないことを確認し、報告（2）終了。

## 報告3 「西長田ゆりの里駅」の整備について

坂井市企画情報課より資料説明（**報告3**資料参照）

<質疑応答>

特になし

他に意見がないことを確認し、報告（3）終了。

## 座長

現在の網形成計画の期間もあと2年ということで、数値目標の評価や、その評価を受けて次の支援スキームの検討など、新しい課題を踏まえた計画策定となる。福井の場合は特に新幹線開業という節目の時期に検討できるという大きなチャンスとなるので、これから2年間、交通事業者、県、沿線自治体、沿線住民が、えちぜん鉄道を含めた地域交通をどうするかを前向きに考えて取り組んでもらいたい。

## 会長

昨年12月の勝山市議会で発表したが、今年で市長在籍20年となり、本年末に引退させていただく。振り返ってみると、このえちぜん鉄道が発足する直前に市長に就任し、皆さんの様々なご支援、ご協力、ご理解でここまでやってこられたと、非常に感慨深いものがある。

地域を活性化させるための重要なツールとして住民の足に鉄道がなくてはならないという時代がやっとやって来た。えちぜん鉄道がその先例を作っているということを本当に嬉しく感じている。

## 閉会